



紅梅

経営税務通信

高桑税務会計マンスリー・ニュース

編集発行人

高桑税務会計事務所
 税理士 高桑 安一
 行政書士 高桑 誠一
 〒465-0003
 名古屋市名東区延珠町1017
 TEL (052) 774-2077
 FAX (052) 774-2158
 takakuwa@tzsite.jp

2月

(如月) FEBRUARY

11日・建国記念の日

日	12	26
月	13	27
火	14	28
水	1	29
木	2	16
金	3	17
土	4	18
日	5	19
月	6	20
火	7	21
水	8	22
木	9	23
金	10	24
土	11	25

2月の税務と労務

- 国 税** / 平成23年分所得税の確定申告 2月16日～3月15日
(還付申告は申告期間前でも受け付けられません)
- 国 税** / 贈与税の申告 2月1日～3月15日
- 国 税** / 1月分源泉所得税の納付 2月10日
- 国 税** / 12月決算法人の確定申告 (法人税・消費税等) 2月29日
- 国 税** / 6月決算法人の中間申告 2月29日
- 国 税** / 3月、6月、9月決算法人の消費税等の中間申告 (年3回の場合) 2月29日
- 国 税** / 決算期の定めのない人格なき社団等の法人税の確定申告及び納付 2月29日
- 地方税** / 固定資産税の第4期分の納付 市町村の条例で定める日

ワンポイント くるみん税制

子育て支援企業に対する税制優遇制度。育児休業を取得しやすくする等により、一定期間内に次世代育成支援対策推進法に基づく認定を受けた企業は、取得・新築・増改築をした建物について、普通償却限度額の32%の割増償却ができます。認定マークの愛称が、「くるみん」であることから、こう呼ばれています。

節分の風習

● 節分とは

節分とは本来、季節の始まりの日である「立春・立夏・立秋・立冬」の前日のことをいいます。節分は、「季節を分ける」ことを意味していますが、中でも新年を迎えることになる「立春」の前日はとても大切な節目であるので、現在のような形が残ったようです。

● 豆まき

節分といえば豆まきです。季節の変わり目には邪気が入りやすいと考えられており、豆まきはその邪気を払うために行うと言われていいます。大みそかの夜に疫病などをもたらす悪鬼を祓い、新しい年の豊作を願う宮中行事の「追儺（ついな）」が由来とされています。その後、江戸時代には民間でも広く行われるようになりました。

● 各地の節分と豆まき

豆まきの掛け声といえば「鬼は外、福は内」が一般的ですが、地域や神社によっては違った掛け声をかけるところもあります。

例えば、京都府福知山市の大原神社の掛け声は、「鬼は内、福は外」です。これは、鬼を神社に迎え、福を神社から各家庭に送るという意味で使っているようです。

また、東京都新宿区の稲

荷鬼王神社では、「鬼は内、福は内」という掛け声をかけます。この神社では、鬼にはすべての災いを祓う力が備わっていると考えられているからです。

● 豆まきの豆は大豆

豆まきには、煎った大豆を使います。大豆には霊的な力が宿ると信じられているからです。その昔、京都の鞍馬山に鬼が住んでいて人々を苦しめていたのを、大豆を鬼の目に投げつけて退治したとも言われています。「悪魔を滅する」から魔滅（まめ）にも通ずるようです。

大豆は生の豆ではなく、必ず煎った豆が使用されます。なぜなら、豆まきの後に拾い忘れがあった場合、生の豆であれば芽が出てしまい縁起が悪いとされているからです。

● 鯛の頭と柊のトゲ

鬼の嫌いなものとして、「鯛（いわし）の頭」と「柊（ひいらぎ）のトゲ」があります。そこで、節分に鯛の頭を柊の小枝に刺して戸口に挿すという風習がありました。これはしめ縄に鯛（ボラ）の頭と柊を飾っていた平安時代の風習に由来するといわれています。最近ではこのような風習を行う家は少なくなっているようです。

● 恵方巻き

恵方巻きは、節分に食べる縁起が良いとされる太巻きをいいます。恵方巻きの起源は、はっきりとは分かっていませんが、1970年代後半ごろから、関西地方では一般的な風習となりました。その後徐々に浸透しはじめ、節分に恵方巻きを食べる風習が全国に広まりました。

恵方巻きの恵方とは、その年において最も良いとされる方角のことで、その方向に向かって巻き寿司を食べることから「恵方巻き」と呼ばれるようになりました。2012年の恵方は北北西の方向です。ちなみに2011年の恵方は南南東でした。

● 変わった風習

節分には、珍しい神事を行う神社もあります。例えば岡山県の吉備津神社では、節分祭に年男・年女による豆まきが行われた後、大きな焚き火を囲みながら、ほら吹き神事が行われます。

また、山口県の防府天満宮では、くじによって牛が当たる牛替神事があります。神くじで当たった人は、11月に行われる御神幸祭まで神牛を飼育することになります。

節分といえば豆まきが一般的ですが、各地の神事を見てみると、新たな発見があるかもしれません。

合計特殊出生率とは

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものを「合計特殊出生率」といいます。単に出生率と呼ばれる場合もあり、発展途上国で高く、先進国で低い傾向があります。

合計特殊出生率は、①平均初婚年齢、②生涯未婚率、③完結出生児数の3つの要素により影響を受けます。

なお、完結出生児数とは「夫婦が」もうける子どもの数をいいます。

合計特殊出生率の推移

日本の合計特殊出生率は、1947年から1949年の第1次ベビーブームでは4.32ありました。それから低下し続け、1961年には2.00を下回るようになりました。

その後は、「ひのえうま」である1966年を除き、2.00を少し上回っていました。しかし、第2次ベビーブームのあとは2.00を常に下回っており、2005年には1.26まで低下しました。近年ではやや回復をしたものの、2010年は1.39とまだまだ低い水準であるといえます。

人口構造の推移と見通し

最初の国勢調査が実施された1920年には、日本の人口は約5,600万人でした。その後、戦争による人口減少はあったものの徐々に人口は増加し、1967年には1億

進む人口減少

人を突破しました。そして2010年には、1億2,800万人となりました。

しかし今後は人口が減少すると見込まれています。2046年には1億人を下回り、2055年には約9,000万人と、1955年頃と同じ水準になる見通しです。

日本の人口構造におけるもう一つの問題点は、「高齢化」です。1960年頃までは総人口に占める65歳以上の割合は5%台を推移していました。それから65歳以上の人口の割合は徐々に増え、2010年には23%を超えました。今後も65歳以上の割合は増え続け、2055年には40%を超えると予想されています。逆に生産年齢人口と呼ばれる15歳から64歳までの割合は2010年には63.7%ですが、2055年には51%まで低下する見込みです。

人口の減少と高齢化は、売り上げの減少や労働力不足につながり、経済にも大きな影響を与えることが懸念されます。各企業は、営

業戦略による売り上げの増加や、労働力の確保といった対策をとる必要があるでしょう。

少子化の原因と対策

厚生労働省が2005年に実施した「出生動向基本調査」によると、未婚者の約85%はいずれ結婚したいと考えているようです。また結婚の意思がある人が希望する子どもの数は、男女とも2人以上となっています。しかし現実には、希望とは大きくかい離しています。このかい離を生み出している要因としては、収入が低く雇用が不安定であることや、子育てをしながら仕事を継続することに対する不安が挙げられます。

そこで政府は、2010年に「子ども・子育てビジョン」を策定しました。このビジョンでは、これまでの「少子化対策」から「子ども・子育て支援」へと視点を移し、社会全体で子育てを支えることと、仕事と子育ての調和を目指しています。また男性の育児休業取得率を、現状の1.23%から2014年度には10%にするなどといった、数値目標も掲げられています。

人口減少・少子高齢化は、解決するまでには時間のかかる複雑な問題です。国や地方公共団体だけでなく、企業や地域社会が一体となって、この問題に取り組んでもらいたいものです。

(参考文献: 子ども・子育て白書 平成23年版)

ヒートショック

私たちの体は、暖かい場所から寒い場所へ移動すると、熱を逃がさないように血管を収縮させます。そうすると血圧は上昇します。逆に寒い場所から暖かい場所へ移動すると血管を拡張させるので、血圧が低下します。

このように急激な温度の変化によって体がダメージを受けることを、ヒートショックといいます。

年間に1万人以上の方が、ヒートショックが原因で亡くなっており、高齢者が家庭内で死亡する原因の4分の1を占めているといわれています。特に冬場に多く発生しており、注意が必要です。

日本の家屋は、日当たりの良い南側に居室があり、日当たりの悪い北側にトイレやお風呂などが配置されていることが一般的です。そのため、冬場にはトイレや浴室といった水回りが非常に寒くなることがあり

ます。

また入浴の場合、寒い脱衣場で脱衣をすることで血圧が急激に上昇します。そして浴槽に入ることによって体が温まり今度は血圧が急激に低下します。温まった身体で寒い脱衣場に戻ると血圧は再び上昇します。このように入浴は血圧の変化が大きくなり、身体に思った以上の負担をかけています。

ヒートショックの影響を受けやすい人は、日頃から血圧の高い人や糖尿病などの疾患がある人です。また血管がもろくなっており、急激な収縮に対応しにくくなっていることから、高齢者も注意が必要です。

入浴前にお風呂のふたを開け、蒸気で浴室を暖めたり、脱衣所に暖房器具を置いたりといった工夫をして、ヒートショックの予防を心がけましょう。飲酒後の入浴は、通常よりも血圧の変動幅が大きくなり疾患を引き起こす危険性が高いので、避けた方が良いでしょう。

製品ライフサイクル

製品が市場に導入されてから撤退するまでの間を意味するマーケティング用語で、①導入期、②成長期、③成熟期、④衰退期の4段階に分けられます。

世に出回っている、いわゆる「成功する」製品は、導入期では売り上げはほぼ横ばいに推移しますが、成長期で大きく上昇し、成熟期で緩やかな上昇を示します。反対に失敗する製品はこのような推移は示しません。

企業は、製品ライフサイクルの各段階で様々な戦略をとっています。導入期では製品の認知度を高めること、成長期ではシェアの確立、成熟期では競合製品に対する対策などが図られます。衰退期には、撤退を検討することも重要です。

近年では市場ニーズが多様化し、かつ複雑になっていることから、製品ライフサイクルは短縮化の傾向が強まっています。企業はその対策として、研究開発の強化が急務となっています。

塗る太陽電池

世界初の「塗る太陽電池」が実用化されそうです。

従来の太陽電池は、結晶シリコンの半導体をガラス基板に載せたもので、市場の九割を占めています。

これに対して塗る太陽電池は、塗布変換型有機化合物を用います。これにより従来よりも重さが一〇分の一以下になり、今まで強度が足りず太陽電池パ

ネルを乗せられなかった建物などにも設置が可能になります。

また柔軟性が高く、簡単に曲げられることも大きな利点です。そのため衣服や自動車の屋根などにも貼れるようになります。

さらに、原料の調達コストも現在の太陽電池に比べて低く、大量生産も可能で、今後は塗る太陽電池の市場シェアが大きく拡がること期待されます。